

- ☑ 山武市日向の森で第6回植樹会
- ☑ 事業活動報告  
ゼロエミッション研究会
- ☑ 事業活動報告  
森林保全活動 日向の森・あいち海上の森



## トピックス

### 山武市日向の森で第6回植樹会を開催しました！

2023年5月14日(日)、SEFが山武市と森林保全協定を締結している日向の森にて、第6回目となる植樹会を開催しました。

山武市長の松下様、山武市関係者はじめ会員企業、ボランティア、地域住民の総勢90名が参加しました。2023年度は、これまで続いた新型コロナウイルス感染症による規制が緩和されたことで2022年度より10名以上多くの参加者にお越しいただきました。

日向の森はサンプスギの産地でもあることから杉林として管理してきましたが、生物多様性に配慮した天然林に近い針広混合林への移行を目指し、2022年度からは広葉樹の植樹を行っています。2023年度もグンゼ様から広葉樹の苗木175本をご寄附いただき、植樹しました。

ご寄附いただいた樹種は5種でコブシ、ケヤキ、コナラ、イロハモミジ、コムラサキシキブをそれぞれ35本寄贈していただきました。

松下山武市長、渡邊SEF代表理事の開会挨拶から始まり、事務局スタッフから初参加の方も正しく植樹ができるよう、植樹のデモンストレーションを行いました。

今回の植樹会には、家族連れも多く参加され、「毎年来ようね」「〇〇ちゃんが大人になった時、一緒に行こう」など親子で植樹した苗木の前で語り合っていました。植樹会では親子の絆を深めたり、様々な人との関わりができる、コミュニケーションの場としても良い結果を得られたと感じました。今回は、参加者が多いため予定より早く全ての苗木を植樹することが出来ました。

コロナ禍でここ数年大々的なイベントを行うことができませんでしたが、今後は未来の地球のために植樹を行うだけでなく、参加者のコミュニケーションの場だったり、憩いの場になるよう企画をし、より多くの方にご参加いただけて、学びがあり、わくわくする取り組みになるようにしていきたいと考えています。

<ゼロエミッション研究会とは>

当財団では、ゼロエミッションの実現に向けて、2017年より食品小売業・外食産業の店舗から発生する廃棄物(特に食品循環資源)の発生抑制・資源循環・適正管理の手法を学ぶ場として、「ゼロエミッション研究会」を開催しています。

## 第1回ゼロエミッション研究会

5月18日(木)2023年度1回目となるゼロエミッション研究会を開催しました。35社83名の方にZOOMとのハイブリット勉強会にご参加いただきました。2022年度から20社近く会員企業が増え、初参加企業も増えたことから、食品リサイクル法と食品リサイクルループについて、廃棄物の適正管理、企業が実践する食品リサイクルループについて講師のみなさんからご講義いただきました。

## 食品リサイクル法について

SEF顧問 東京農業大学名誉教授 **牛久保 明邦 氏**

食品リサイクル法の成り立ちから食品廃棄物の推移と現状、再生利用事業計画(食品リサイクルループ)認定制度、食品リサイクル率の事業別推移などお話しいただきました。基本的な話が多く、食品リサイクル法について初めて学んだ参加企業の方にも非常にわかりやすくご説明をいただきました。



牛久保顧問の講義

## 廃棄物の歴史と課題

SEF理事 株式会社ガイアドリーム 代表取締役(当時)

**志岐 秀明 氏**

アウトソーシングしがちな廃棄物管理業務について、廃棄物の歴史と問題からさかのぼり説明をしていただき、そこから出てきた課題、現代において起きている課題についてを自分事になるようにお話しいただきました。また、10月の収集運搬・処分費の値上げについてどう取り組んでいくかをお話しいただきました。



志岐理事の講義

## 持続可能な企業を目指して —食品廃棄ゼロはSDGsの重要課題—

SEF業務執行理事 ワタミ株式会社 SDGs推進本部長

**百瀬 則子 氏**

食品ロスや廃棄物問題で、企業が取り組まなくてはいけないことを事例やSDGsを交えてご説明いただきました。会員の多くが企業であることから自分の会社が何をしなくてはいけないのかを学び、また、1社1社では難しいことも共同で取り組むことによってその問題が解決することを提案しました。

## 2023年度ゼロエミッション研究会 参加者募集

### 【日程】全6回

- 第1回 5月17日(水)
- 第2回 7月20日(木)
- 第3回 9月21日(木)
- 第4回 11月30日(木)
- 第5回 1月17日(水)
- 第6回 3月14日(木)

【勉強会 会場】ワタミ株式会社 東京(大鳥居)本社

【参加費】70,000円

※賛助会員(民間団体)は無料

※別途:見学会交通費、遠方への個別相談時交通費

### 【講師】

- ・百瀬 則子氏  
(SEF業務執行理事、ワタミ株式会社SDGs推進本部長)
  - ・志岐 秀明氏  
(SEF理事、株式会社ガイアドリーム相談役)
  - ・牛久保 明邦氏  
(SEF顧問、東京農業大学名誉教授)
- ほか、資源循環・廃棄物関連専門家多数登壇予定

★概要をご確認のうえ、SEFホームページからお申込みください。 <https://save-earth.or.jp/archives/8599>

## 森林再生事業 活動報告

# 日向の森、あいち海上の森で 森林保全活動を実施しました！

2023年4月から7月の森林保全活動 2023年7月31日現在

活動日	場所	イベント	参加人数
4月	8日 日向の森	定例保全活動	11名
	22日 日向の森	定例保全活動	9名
5月	13日 日向の森	定例保全活動	10名
	14日 日向の森	植樹会	90名
	27日 日向の森	定例保全活動	8名
6月	10日 日向の森	定例保全活動	8名
	17日 あいち海上の森	保全活動	23名
	24日 日向の森	定例保全活動	13名
7月	8日 日向の森	定例保全活動	10名
	22日 日向の森	定例保全活動	11名

2023年4月～2023年7月末までの累計

日向の森 **170名** あいち海上の森 **23名**

### ◎日向の森(千葉県山武市) 活動報告

7月22日(土)、溜池に生息する水生生物の確認と外来種捕獲駆除、周辺に大量発生した葦刈り、溜池にたまった土流撤去と水路確保をメインに行いました。

溜池に生息する水生生物では、かつてトウキョウサンショウウオが発見されました。そして、昨年アメリカザリガニの稚魚を多数発見したため、希少生物や在来種の巣を守るためにも、捕獲して駆除します。

溜池に、市販の網トラップを4台配置。そしてペットボトルで作成した即席トラップを2個仕掛けました。結果、今回はアメリカザリガニ2匹。在来のドジョウ15匹を捕獲しました。残念ながら、その他の希少生物は発見されませんでした。また、アメリカザリガニもどこかへ隠れてしまったのか、なかなか捕獲できませんでした。そのため、トラップ2個を残し、次回以降継続して捕獲を行います。

作業しながら気づいたこととしては、池の水位が低くなっていました。つまり、地下水が何らかの理由で少なくなっている。もしくは土積により池の面積が狭くなってしまった等により、水生生物の生息に影響がでていると考えられます。

葦の草刈では、全体の約1/3程度すすめました。土壌が乾燥化しており、湿地を好むセリやミゾソバは溜池のすぐ手前程度にしか見られませんでした。

水位が下がり、地下水が減っていますが、一時的なものや天候によるものなのか、原因がはっきりしないこともあり、様子を見て今後も水位が下がるのであれば、この溜池を保護していくために、新たな対策を検討しなければならないと考えています。



### ◎あいち海上の森(愛知県瀬戸市) 活動報告

SEFでは、特別賛助会員企業のワタミグループと愛知県との3者で、愛知県の県有林「あいち海上(かいしよ)の森」(愛知県瀬戸市)における森林保全協定を2020年4月1日付けで締結しています。

6月17日(土)にボランティア・スタッフのべ23名の大人で森林保全活動を開催しました。主にボランティアでは愛知県や静岡県のSEF会員企業中部有機リサイクルに参加して頂きました。ワタミの森では人工林の育成管理のため、よりよい木々を残し、10年かけて斜光が入りやすい健全な森を目指すことにしました。

今回は、昨年度どんな森にしたいかを参加者で話し合い、2023年度は林道整備を行うことになったことから、参加者がベンチづくり班と階段づくり班の2班に分かれ、作業を行いました。



まず、伐倒して木材として利用する一連の流れを理解し体験するため、間伐1本実施しました。海上の森センター職員に間伐をお願いして、ボランティアはその作業を遠くから見学しました。間伐したヒノキは、1メートルの長さで切り、ボランティア全員が手分けして皮を剥ぎました。皮を剥いだヒノキを用いて、それぞれベンチと階段を製作しました。

水を吸った木材は重く、運搬はとても大変で、木が生きていたことを感じながら作業を行いました。

ベンチづくり班は、すでにあるベンチの他に登山者が途中で休憩できるように切り出した木材を使って作りました。

階段づくり班は、上りづらい傾斜を歩きやすくするために木材で階段を作りました。傾斜に設置するのが大変で四苦八苦しながらも楽しく作業を行いました。





## SEFでは、各地域での森林保全活動をお手伝い頂けるボランティアさんを募集しています。

千葉県山武市では原則として毎月第2・第4土曜日に定例活動を行っているほか、他地域でも年数回の活動を実施しています。

なお、活動実施にあたり感染症の拡大防止に最大限の配慮を講じてまいります。

下記リンクから確認事項等ご参照のうえ、ご参加をお願いいたします。

<https://save-earth.or.jp/archives/6783>

### <2023年11月/12月の活動予定>

#### ●千葉県山武市(日向の森)

※引き続き、2018年の台風15・19号による被害を受けた人工林の復旧作業を中心とした活動を予定しています。

11月11日(土)

12月9日(土)、12月23日(土)

#### ●愛知県瀬戸市

(あいち海上の森)

11月18日(土)

※その他地域での活動予定については、SEF ホームページをご覧ください。

活動の詳細、お申込みはコチラ ▶▶ <https://save-earth.or.jp/event>

## 賛助会員・サポーター入会のご案内

SEFの活動は、皆さまからのご支援に支えられています。

「美しい地球を未来の子どもたちに残したい」。この思いにご賛同いただける皆様のご入会をお待ちしております。

企業・団体	会員特典	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食品リサイクルループ構築支援</li> <li>・「企業の森づくり活動」支援</li> <li>・廃棄物法令、食品リサイクル、廃棄物管理等の専門家による助言・指導</li> <li>・「ゼロエミッション研究会」など、各種セミナー等へのご招待・ご優待</li> </ul>		
	会員区分 年会費	特別賛助会員	1口	500,000円
個人	会員区分 年会費	賛助会員	1口	50,000円
		資源循環サポーター	1口	50,000円(資源循環事業に用途を限定)
		森林再生サポーター	1口	50,000円(森林再生事業に用途を限定)
		会員特典	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ゼロエミッション研究会」など、各種セミナー等へのご招待・ご優待</li> <li>・森林ボランティア活動参加者に千葉県産サンプスギ製「サポーター登録証」を発行</li> </ul>	
		賛助会員	1口	10,000円
		資源循環サポーター	1口	1,200円(資源循環事業に用途を限定)
		森林再生サポーター	1口	1,200円(森林再生事業に用途を限定)

ご入会のお申込みはこちらから→<https://save-earth.or.jp/member/apply>

